

# しおさい



片崎山の山ツツジの群生

## 【主な内容】

- 特集記事「シリーズふるさと見聞録」：尻屋
- 「明日へのかけはし」：鈴木 裕子さん
- 「ファイト!わんぱく」：老部小学校 ミニバスケットボール部
- クローズアップ「こんにちは元気さん」：松木 成雄さん
- 「地元の特派員レポート」
  - 橋本 穂香さん
  - 真手 君子さん
  - 齋藤 重雄さん

vol.3

平成19年6月発行  
東北電力(株)東通原子力発電所

東通村29の集落の特徴的風物や人物を探る!

## 尻(しりや)屋

寒立馬、桑畑山、太平洋…。  
豊富な資源、そして後継者が育つ地区

白亜の尻屋埼灯台と寒立馬で有名な東通一の観光地・尻屋崎。その太平洋側に面し、海岸段丘に広がる集落が尻屋です。夏はヤマセと濃い霧に悩まされ、冬は季節風が強く吹く気候の厳しい所ですが、春は布海苔、昆布、夏からは、うに、あわび、いか、冬は蛸など海の豊富な資源に恵まれています。

集落の近郊にある桑畑山には、良質の石灰石が埋蔵されており、昭和27年に日鉄鉱業が採掘を始め、昭和54年には三菱マテリアル(当時:東北開発セメント)が青森セメント工場を建設しました。

また、尻屋地区は東通村内で最も団結力のある集落であるといわれており、毎月休漁日を定めているほか、冠婚葬祭時は漁に出るのを止めて、全員が参加しています。主だった活動としては、部落会や地元の若者たちが能舞を伝承する三余会、寒立馬の管理などを行っている牧野組合、民俗芸能の伝承活動や、ボランティアで灯台のごみ拾いをしたり特産品の販売を行っている婦人会などがあります。

その他にも昭和34年には、桑畑山の基盤岩から珊瑚類の化石が見つかり、中生代ジュラ紀に堆積した地層であることが確認されています。



### 国内で唯一、中世の「アワビ貝塚」が出土

集落にある浜尻屋貝塚からは、平成7年の発掘調査で国内唯一という、アワビを主体とする中世の貝塚が見つかり、当時の漁業の実態を解明するうえで極めて貴重な遺跡として注目を集めました。出土したのはクロアワビの冷水域亜種とされるエゾアワビで、6cm前後の大きさの貝殻が多く発見されています。

当時の人びとは、採れたアワビを干鮑に加工し、中国などに輸出していたようです。

平成18年には、下北地域では初となる国の史跡に指定されました。



浜尻屋貝塚

40頭の黒毛和牛を飼育するとともに、村からの委託で30頭の寒立馬を管理してあります。寒立馬の出産は、春がピークとなりますが、馬の出産は牛と違って30分が勝負です。体が大きいため逆子の時は大変ですが、馬はとても人になつきやすく、1週間共に過ごただけで顔を覚えてくれるから可愛いですよ。



牧野組合  
寺道 和廣さん(54歳)

三余会は、1年のうちに暇な冬、夜、雨天の3つの余暇を利用して修養に励もうと明治時代に結成されました。会員は青年団も兼ね、現在18歳から42歳までの25人。能舞は権現舞を中心に12の演目や手踊りを伝承しているほか、杉、ひば、松の植林も行い尻屋小学校建設時には山林の木を提供しました。地区には「三余会の浜」があり、協力し合って布海苔も採ります。また八幡神社の例大祭でも、みんなを楽しませようと活動しています。



三余会 会長  
石田 久典さん(38歳)

# 尻屋を 訪ねよう

海の幸、山の幸に恵まれ、  
団結力ある集落

本州最北東端の尻屋埼灯台と寒立馬で有名な観光地として多くの人が訪れる尻屋は、部落会、漁協、共有財産を守る土地保全会などたくさんの団体があり、そのすべてが繋がり、助け合い、団結しています。豊富な資源に恵まれ暮らしも安定しているので、若い人は100%地元に戻って来る、魅力ある集落です。

尻屋部落会長の  
みなみやとしいち  
南谷壽一さん(56歳)



昔から資源共同部落として共存共栄を行い、何かあれば集落全体がまとまり、一斉に取り組んだものです。国定公園に指定されている尻屋崎には寒立馬を見ようと多くの観光客が訪れます。秩父宮様、秋篠宮様も訪れています。雄大な自然に恵まれた尻屋は写真が好きな私には最高の場所。桑畑山からの眺めは素晴らしいです。



尻屋の自然が大好き  
てらみち しんきち  
寺道 信吉さん(72歳)

先人が最高の漁場に住んだお陰で、スルメイカに代表される漁船漁業と、昆布、布海苔、あわび、うになどの磯漁業のバランスが良く、年間漁獲量1330トンと、安定した漁獲に恵まれています。昭和59年、昆布の増殖に成功し、枯渇を防ぐため漁場の管理も行っていますが、今後は干鮑を作るなど、海の恵みに付加価値を付けた出荷にも取り組みたいと思っています。



尻屋漁協組合長  
まさや とういち  
碓谷 滔一さん(59歳)

# 明日への かけはし

## 東通村子育てメイトサークル茶話会

親子、地域住民、みんなの交流の場に！

少子化が進む中、村内に住む親子が交流し、他地域から転入してきたお母さんも孤立することなく友達を作る機会を提供しようと頑張っているボランティアが、東通村子育てメイトサークル茶話会です。昨年秋に会をスタートし、メンバーは現在10人。毎月2回、保健福祉センター「野花菖蒲の里」のキッズルームを訪れた親子と、仲良く遊んだりお茶を飲ん

で楽しく過ごしています。

午前10時、キッズルームにはこの日を待ち望んでいた親子が笑顔でやってきました。子どもたちは滑り台で遊んだり、お母さんたちは子育ての悩みを気軽に話したりとても和やか。3月にはおやつ作りも楽しみ、今年度は親子で出来るリトミック体操(音楽に合わせて体を動かす体操)などを行う予定です。参加した若いお母さんは「まわりに知り合いがない中、初めての子育てということで、色々と心配や悩みごとがありましたが、



東通村子育てメイトサークル茶話会の皆さん

子どもの言葉がどのように発達していくのかなどについて、相談することができてよかった」と喜んでいました。

鈴木裕子代表は「ただここに来て子どもと遊び、お茶を飲んで過ごすだけでも、みんなのストレス解消の場になっています。村内に公民館や喫茶店など集いの場がないので、子どもがいてもいなくても遊びに来て、情報交換しませんか」と参加を呼びかけていました。



キッズルームで  
楽しく遊ぶ子どもたち



会話が弾むお母さんたち



代表の鈴木裕子さん

## ファイト! わんぱく

## 老部小学校 ミニバスケットボール部



キャプテンの  
さかもとあんり  
坂本杏里さん

少人数でも力いっぱい頑張りますー老部小学校ミニバスケットボール部は、キャプテンのさかもとあんり(6年)を中心に奈良文治先生・小島千晶先生指導のもと、4年生から6年生までの女子16人が、爽やかな汗を流しています。

結成は今から20年ほど前。老部小学校では男子の「野球」に対し女子の「ミニバス」が定着しており、スポーツの苦手な子どものために今年、文化部もつくりましたが、4年生以上の女子全員が自主的に「ミニバス」への入部を決めたそうです。

練習はほぼ毎日。まずはランニングを行い、「シャトルラン」という持久力をつけるためのハードな動きにつづき、パスやドリブル、

シュートなどの基本的動作、攻撃方法、ミニゲームへと続きます。練習は学校の体育館をメインに、年に数回は村の体育館へ出向き、力をつけるため他校との練習試合も行っています。

東通村スポーツ少年団主催の大会では、たびたび優勝しているほか、平成16年度は下北地区大会で3位入賞を果たしています。

キャプテンの坂本さんは「たくさん走るので体力が持たず大変ですが、シュートが決まると気分がいい試合に勝つとうれ

しいです」と話します。奈良先生と小島先生は「とても真面目で仲のいい子どもたち。とにかく楽しみながら取り組んで欲しいですね」と、あたたかく見守っていました。



シュートを決める  
藤田美咲さん





# 元気さん

## よさこい、座禅で心を育む!

えんりゅうじ

じょうゆう

圓流寺住職 松木成雄さん(54歳)



村内で元気に活動する人を紹介する「こんにちは元気さん」。今回はよさこい鳴子踊りや座禅で地域を明るく元気にしている、松木住職にお話を伺いました。

東通村白糠生まれの松木さんが、9年間無住職だった圓流寺に、おつ市の円通寺からやって来たのは平成3年のことでした。

ここに居住し、自分の子どもが旧砂子又小学校に通うこととなり、PTAや子ども会育成会の活動をきっかけに地域の人たちとの交流が始まりました。

4年前、東通村のよさこいを見て「いいもんだなあ」と思っていた松木さんは、地元婦人会チームの解散を聞き、あとを引き継ぐ形でチームを結成。「みんなが手を繋いで心がひとつの輪になるように」と願いを込め「チーム圓<sup>まどか</sup>」と命名しました。奥さんの由美子さん(51)もコーチとして裏方でチームを支えています。

チーム圓は職場のチームと違い、地元の人を中心に、よさこいを踊りたい人は誰でも参加できる、とてもフレンドリーなチームで、会員は小学生から50歳代まで、職業もそれぞれ違う30人。その中には村の学校で英語を教えている外国の人もいます。

曲と振り付けは、よさこいの本場である高知市の専門家に依頼。東通の荒海をイメージした、力強く元気な踊りが特徴となっています。本番1カ月前には結団式を行い、村の体育館で週2回、午後7時から9時まで、チームが一丸となって稽古に励みます。

「親子や夫婦、兄弟で参加している人が多く、互いの絆はさらに深まり和気あいあいです。みんないい思い出を作りたいと、楽しみながら踊

っているんですよ」。最初は恥ずかしがっていたメンバーも、一度踊ると気分爽快。よさこいは「一体感が何よりだし、打ち上げも盛り上がります」と松木さんは嬉しそうです。

また、心を育むお寺の行事を体験して欲しいと、座禅会も行っています。「最初は子ども会で親子を対象に行いました。子どもたちは30分間も正座をすると足がしびれてキツかったようですが、『背筋がピシツとなった』『心が洗われたみたい』と喜ばれ、やがて学校主催の行事でも行われるようになりました」。

松木さんは「村を元気にしようとか、大それたことを思っているんじゃないんです。ただみんなに喜んでもらえればと思って…」。

今後は新たに「チーム圓」のメンバーによるソフトバレーボールのチームを作って村の大会に参加したり、お寺では線香づくりも始めたいと意欲的に話していました。



座禅会の様子



チーム圓の皆さん



よさこい来さまい祭りで踊るチーム圓

東通村各地区の皆さまから心温まる情報をお届けします。

## 地元の特派員レポート



東通村蒲野沢在住  
東通小学校(6年)  
はしもと ほんかの  
橋本 穂香さん(11歳)

### 歴史ある寺 法林寺



私は蒲野沢の法林寺について調べました。直接法林寺に行って質問しました。

法林寺は百年くらい前の明治37年に建てられました。それから、昭和30年に屋根をトタンぶきにしました。そして、去年、欄干と屋根のトタンをはり直したそうです。

今の法林寺の住職さんは19人目



六人地蔵



法林寺

だそうです。蒲野沢の地域のみならず、いろいろな行事の時によく法林寺を利用します。

1月に、きとう、総供養、3月に彼岸、5月にはおしゃか様のお誕生会、8月にせがき(無縁仏を供養する)などがあります。

ほかに、法事、おそう式などもします。前は、子ども会の座禅会などもありました。

お祝ごとや盆踊りなどの会場にもなるそうです。私はこのようなことを知りませんでした。インタビューしてたくさん知ることができました。

お寺なのに蒲野沢のみなさんの要望で会場のかわりもしてすごいいました。それだけ地域のみなさんに愛されているんだなあと思いました。

### 鹿橋の歴史について

私は古くからある千年桂と石神様、それと能舞に興味があり調べました。

●千年桂と石神様



文治三年、村人が桂の下を通ると、見知らぬ女の子が現れ助言したそうです。

村人がそこへ行って見ると石があり、桂の根元から冷水が湧きでいたことから水の神にちがいないと思い、桂のそばにほこらを立てました。それが石神様です。私も小さいころそこで遊んでいま

ましたが不思議な感じのする所でした。



石神様

### 今日の達人

グリーンホテル  
板長

でんぼう ひろみつ  
傳 法 弘 光 さん



#### ●プロフィール

風間浦村出身。埼玉、東京で板前の修行を経て、20年前むつグリーンホテルへ。現在板長として後輩の指導も行う。地元の食材を使った旬の創作料理が評判。50歳。

### 冷めても美味しい 油目の南蛮漬(4人分)

〈材料〉(4人分)

油目(中)／1本、長ネギ／1本、玉ネギ／1個、パプリカ(黄・赤)／各1個、片栗粉／少々、あざみ／100g位、サラダ油、塩／少々

◎南蛮酢

酢／180cc、砂糖／50g、みりん／大さじ1、昆布ダシ／180cc、正油／大さじ2、鷹の爪／千切

〈作り方〉

①南蛮酢の材料を混ぜ合わせ、沸騰しないように10分位火にかけ、あらかじめ南蛮酢を作っておきます。

②油目は3枚おろしにして背切りし、一口大にして8個用意し、かるく塩をふって20分置きます。キッチンペーパーで水気をとり、片栗粉をまんべんなく付けて180度の油でこんがり色がつくまで揚げます。

③玉ネギ、パプリカは千切りにして180度の油で素揚げします。

④長ネギは白髪ネギを作っておきます。

⑤②③を熱いうちに南蛮酢に入れ、1時間位漬けて、盛り付けに白髪ネギをのせて出来上がりです。

### 達人がつく



達人の  
ワザ

南蛮酢は沸騰しないように10分位火にかけます。



写真は特派員が自ら撮影したものです。



東通村鹿橋在住  
まて きみこ  
真手 君子さん(22歳)

### ●能舞

1月2日と16日にあり、中でも私が好きなのは翁と鐘巻です。

村の人々が楽しみにしている行事でもあります。500年という長い歴史のある能舞をいつまでも大切にしていきたいです。

また、砂取  
さかいけのしんじや  
坂池野神社と  
奥の院があり、  
奥の院は日本  
全国でもめず  
らしい女性が入  
れない神社で  
もあります。



砂取坂池野神社

私は歴史ある鹿橋が大好きです。



奥の院



東通村目名在住  
さいとう しげお  
齋藤 重雄さん(60歳)

## 元気に働く 菊池夫婦

目名から大利地区に行く途中に、釜臥山をバックに区画整理された水田地帯があり、その釜臥山の雪解けの様子を見ながら、目名の農家の方々は春の農作業に励んでいます。

その農家の1軒である、菊池喜一郎さん(76歳)、弘子さん(70歳)ご夫婦にお話を聞きました。

菊池さん方では、水田4.3ha、畑1ha、ビニールハウス9棟、耕作しているそうで、米はもちろん、野菜、果樹等、数多く作付けしていて、毎日忙しいそうです。

また、奥さんの弘子さんは、農作業の合間に、漬物作りや、味噌、豆腐、手打ちソバ等、四季折々の手作りの食

品や、収穫した野菜などと一緒に、野牛川レストハウス直売所や、息子さん宅前に直売所を設置して販売しています。

(やおやの看板があります)  
色々な作業をこなす弘子さんは、軽トラの運転、時にはトラクターの運転、秋にはコンバイン運転と、農業機械はすべて操作できる、まさに目名の、スーパーかあちゃんです。  
このように毎日、こまめに働く菊池さんを見て、よく体の動く方だなと感心します。



直売所



菊池喜一郎さん



スーパーかあちゃんの弘子さん



品揃いも豊富でとても繁盛してます

## る 簡 単 料 理

東通和牛と手作り飛龍頭(ガンモドキ)の冷しゃぶ風(4人分)

〈材料〉(4人分)

東通和牛ロース/うす切8枚、枝豆/10個、木綿豆腐/1丁、葉わさび、長いも/700g位、大根おろし/少々、卵/1個、きざみ海苔/少々、タラの芽、あざみ、サラダ油、塩/少々、片栗粉/大さじ2

◎あんタレ

かつおダシ/大さじ4、正油/大さじ1、みりん/大さじ1、酒/小さじ1、水溶き片栗粉/少々

〈作り方〉

①あんタレの材料を混ぜ合わせ、あらかじめあんタレを作っておきます。

②牛ロース肉を湯通し、葉わさびは塩茹でしておきます。

③飛龍頭(ガンモドキ)は、木綿豆腐を水切りし、長いもはすりおろし、枝豆も湯がいて半分に切り、卵は黄味だけとっておきます。

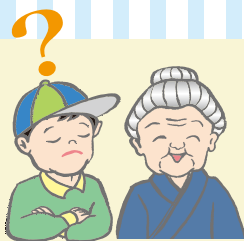
④③をボールに入れよく練って、塩をひとつまみと片栗粉大さじ2を加え、一口大に丸くして、160度の油でゆっくり揚げます。

⑤④を牛肉で包んで盛り付けし、タラの芽、あざみを添えて、あんタレをかけて大根おろし、きざみ海苔、葉わさびをあしらって出来上がりです。



達人の  
ワザ

牛肉を豚肉に、あんタレをポン酢にしても美味しくいただけます。



地元の皆さんは  
すぐわかるよね

## 問題

■東通村（下北地方）には、いろいろな方言が残っているよ。  
右記の①～⑤までの方言を考えてネ。  
○に入る言葉を並べかえると、今回も東通村のある  
集落名になるよ。  
さて、どこでしょう？

- ① 一回に物事を成そうとすること  
○ っ き ○ っ ○
- ② だだをこねる  
○ ん ○ ○ ○
- ③ あわて者  
○ ○ っ か ○
- ④ ひっくり返る  
○ っ く ○ ○ ○
- ⑤ わけがわからない  
○ ○ ね

## 応募方法

★ハガキにクイズの答え、氏名、年齢、住所、電話番号そして当広報誌「しおさい」についてのご意見、ご感想をお書きの上、下記の宛先までお送りください。正解者の中から抽選で10名様へ素敵な景品をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。  
〈応募締め切り／7月6日（金）消印有効〉

前回（Vol.2H18年11月発行）の答え

か み た し ろ でした。

- ① 追いつく、追いつく **か** っ と す
- ② 冷たい **し** ゃ っ こ い
- ③ 可愛らしくない **み** っ た く な し
- ④ つかまる、ぶらさがるとの意味 **た** す が ま さ る
- ⑤ ちょうだい **け** ろ

多数のご応募ありがとうございました。

## 読者からの声

vol.2に皆さまからたくさんのご意見、ご感想をお寄せいただきました。  
大変ありがとうございました。

- 東通のことがとても良くわかりやすく、楽しく見させていただきました。知っている人も写っていて元気に頑張っている様子がわかり、うれしく思いました。これからも楽しみにしています。（岩屋在住 Sさん）
- クイズなるほどザ方言では忘れかけている方言を思い出しながらなつかしくもあり、おかしくもあり、はずかしくもあり、ちょっと不思議な時間を過ごしました。次号も楽しみにしています。（小田野沢在住 Sさん）
- いつも楽しく読んでいます。村のことがわかってきてすごい東通村は広いところだなと思いました。これからも東通村のことを知りたいですね。クイズは全然わからなかったのですが、お父さんは、はりきって頭をひねっていました。（尻労在住 Nさん）
- 表紙の絵がステキですね。カラー写真付きの案内で、私の知らない

地域を教えていただき楽しみに拝読いたしております。  
（白糠在住 Iさん）

- 写真がたくさん載っていて文章も読みやすいです。皆さんの表情が豊かで、見ていて楽しかったです。（白糠在住 Aさん）
  - シリーズふるさと見聞録の記事がすごく印象に残りました。目名地区の能舞の伝統の事が細かく書いており、東通に居ながらも勉強になりました。これからも「しおさい」楽しみにしています。頑張ってくださいね。（尻屋在住 Sさん）
  - ふるさと見聞録では29の集落の特徴的風物や人物を探るのですね。東通村に26年も住み続けていますが、いまだにほとんど知らない集落が多いです。これから、しおさいを集めて東通村を再認識したいと思います。（野牛在住 Iさん）
- 広報誌「しおさい」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。

## 編集後記

皆さまからのご意見にもありますように、私どもも東通村の素晴らしいところを勉強することができ、また、伝統を守っている方やそれぞれの目標に向かって頑張っている方々などを知ることができ、楽しみながら編集に携わっております。  
これからも皆さまに楽しんで読んでいただける広報誌を作成してまいりたいと考えておりますので、広報誌に対する皆さまの声をお待ちしております。

個人情報の  
取扱いについて

ご応募などの際にご記入いただきましたお客さまの個人情報は、クイズに関する景品発送やご意見・ご感想のコーナーへの掲載のみとし、他の目的では使用いたしません。

●発行／クイズ・ご意見・ご感想等の宛先

東北電力(株)東通原子力発電所広報課

〒039-4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34番4  
TEL0175-46-2225・FAX0175-46-2227

誌名「しおさい」について

★東通村で絶えることなく聞こえる心地よい波の音（しおさい）のように、皆さまの心に未長く心地よく響き続ける広報誌でありたいという思いを込めています。



この冊子は、環境にやさしい「植物性大豆油インキ」  
「古紙配合率100%再生紙」を使用しています。